

令和8年3月11日

舟形町議会

議長 斎藤 好彦 殿

総務文教常任委員会
委員長 奥山 謙三

所管事務調査報告書

総務文教常任委員会の所管事務調査の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 期 日 : 令和8年2月19日 (木)
2. 調査内容 : 令和7年度所管各課の主要事業の成果について
 - 住民税務課
 - (1) 防災資機材整備事業
 - ①10月以降購入予定の資機材については、計画通り納入済であった。
 - デジタルファースト推進室
 - (1) 舟形町デジタル推進化計画2.0については、調査日現在で計画未達の施策、「行政手続のオンライン化の推進」「町民に親しまれるホームページづくり」等があった。
 - 健康福祉課
 - (1) 地域福祉計画策定事業
 - ①第5期地域福祉活動計画(舟形町)と第1期地域福祉活動計画(社協)の策定が年度内完成に向けスケジュール化されて進められている。
 - ②緊急通報システムの設置及び運用状況は、令和7年12月25日で運用開始されていた。
 - 教育課
 - (1) 小中一貫校に向けた進め方
 - ①前回調査日(10月23日)以降の検討委員会活動報告及び先進地視察等の実施が計画されていた。
 - (2) 部活動地域移行
 - ①「わかあゆクラブ」の設立による休日の部活動体制が構築されていた。
 - (3) 縄文の女神プロジェクト事業
 - ①プロジェクト事業の経過と、今後の取組みについて報告を受けた。

3. 所 感：

- 防災資機材整備事業について、資機材の使用方法等について職員のほか多くの町民に対し取扱いについて、周知する必要がある。
- デジタル化推進計画2.0進捗について、目標値管理について見える化を行い、早期の計画達成に向けて進める必要がある。
- 舟形町地域福祉活動計画の策定や社協職員を増員したことによる、町民の福祉課題解決等に期待する。
- 小中一貫校の進め方について、地域の学校としての視点に立った視察等を検討しているが、並行して用地取得について早急に進める必要がある。
- 縄文の女神プロジェクト事業について、プロジェクト会議、視察等を実施しているが、「縄文の女神」の帰還について県との協議が優先であり、早急な取組みが必要である。